



写真上：職場からの要求
ボードを貼りだして、広島
市労連交渉に臨む
写真右：非正規ヒロシマ
連絡会による会計年度任
用職員統一交渉



広島自治労連
第72回中央委員会

- * 2026年1/25(日)
13時～16時45分
- * 広島市国際青年会館研修室(アステールブザ7F)
- * オンライン併用
- * 議題
- ・情勢、活動報告
- ・春闘方針、春の組織拡大の提案
- ・全国自治研の取り組み状況
- * 各単組の活動報告をお願いいたします。

◇一時金
人事委員会勧告通り年間支給月数を0・05月。期末手当と勤勉手当を均等に0・025月ずつ引き上げる。

1300円、地域手当見直しに伴う改定額を3100円とし、令和8年4月1日時点の給与月額と地域手当の合計額は現行比較で約12900円となる。

短時間再任用職員の引上げ額でも定年延長職員の引上げ額を上回る。

◇広島市労連最終交渉

11月13日、広島市労連賃金確定最終交渉が行われ、地域手当の引き下げに伴う2段階の給与改定案により、全世代に賃上げがしきわたる回答が示されました。

しかし、物価高騰に見合う賃上げには至っていません。2026春闘を官民共同でたたかい、成果を上げて、来年の人事院勧告に反映させていきましょう。以下には主に賃金について掲載していますが、詳しくは広島市職労「しぶき」、広島自治労連「ザ・かんれん」をご参照願います。

●初任給：大卒（1・33）は600円、高卒（1・13）は510円の引き上げに留め、初任給以降の高位号給と2級については平均3・16%の引き上げ、3級61号級、4級57号級、5級37号級まで改定率の平均を上回る3・5%（10800円～11100円）の引き上げを行う。

以降の高位号給はそれまでの改定額を遞減させることなく、平均2・75%の引き上げを行う。会計年度任用職員のみの1級1号級（12号級まで）の10900円から4400円引き上げる。

●令和8年初任給：大卒600円、高卒7200円。残つた原資により課長補佐級以下について2700円の引き上げ。

●令和8年管理職：一律500円引き上げ。

令和8年4月1日時点の給料月額と地域手当の合計額は、現行比較で行政職課長補佐級以下の職員は940円以上の引き上げ。

● 11月17日、第3回賃金確定交渉。広島市労連の賃金確定交渉（上記）の結果を受けて、当局から最終回答の提示と説明がありました。団結署名は延べ3398筆を提出。

● 重点課題は、住居手当や扶養手当、短時間会計年度職員への退職手当など、会計年度任用職員に認められていない手当等の改善や、年1号しか上がらない昇給制度の改善など、正規職員との格差是正。引き続き格差是正の強い要求があることを最後に強く訴え、交渉を終えました。

統一交渉の様子
写真手前が財団理事者側
向こう側が広島市関連連絡会執行部

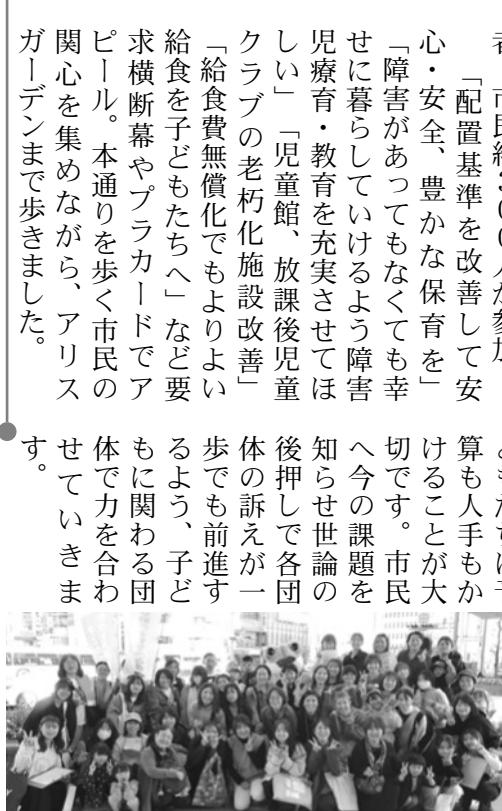
◇府中町留守家庭児童会労組賃金確定交渉

● 11月 27日、給料表、通勤手当等は国の勧告通りの改定の回答。

●府中町会計年度任用職員の一時金は、年間支給月数が3・65月と、正規職員(4・6月)より0・95月低く、組合は何年にも渡り引上げ要求。当局から、今年の改定0・05月に加えて、賃金の格付けを4号引下げ、その原資に0・45月加えて年間4・15月とし、正規との差を0・5月まで縮める提案。

確定交渉

残された課題は正規・非正規共闇で改善を



子どもパレード 11月16日開催

